

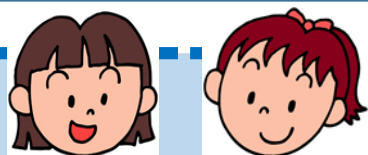
算数科において自分の考えを表現できる児童の育成

～おたすけツールを用いた自力解決と、交流活動の工夫を通して～

特別研修員 算数・数学 佐藤玲子（小学校教諭）

【児童の実態】

自分の考えを相手に伝えるように説明することが苦手
一言も発言しないで授業を終える児童がいる



手立て2 交流活動の工夫

- ① 同じツールで考えた児童同士の小集団解決
- ② まとめの場面でのペアによる振り返り

手立て1 『おたすけツール』 を用いた自力解決

既習事項で解決に用いられる手段を提示する

【目指す児童像】

自分の考えを表現できる児童

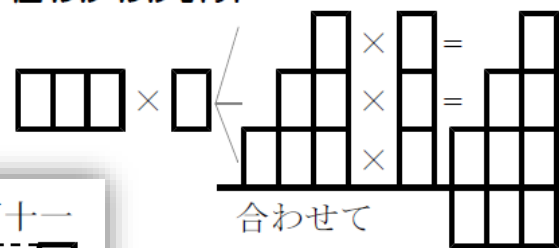
【実践 小学校3年 かけ算の筆算】

手立て1

『おたすけツール』

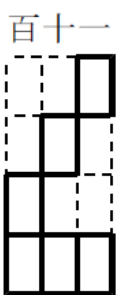
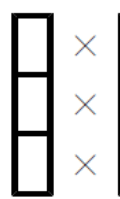


位わけわけ計算



言葉

- ①一の位
- ②十の位
- ③百の位
- ④答えは



筆算の意味をつかむ



十の位の1は、
10で、それが三つ
分だから、30だ。



筆算につなげる

言葉

- ①一の位□×□=□
- ②十の位□×□=□□
- ③百の位に□くり上げる
- ④百の位□×□=□□
- ⑤千の位に□くり上げる
- ⑥答えは、□□□□

課題把握

自力解決

小集団解決

集団解決

まとめ

手立て2-①



ここは数字が反対
になってるね。

ここが同じだね。



どっちが
いいのかな。

お互いに説明して比較検討し、より良い考えにしてい

一の位は、
1が三つ。



話し方・聞き方ポイント

- ・自分と同じ →青マーク
- ・大事なところ →赤マーク
- ・つけ足し →青
- ・「同じだね」「ここがいいね」
- ・指さしをする・理由をつける

話すときの視点



ブロックを使って、量感も養

それが、三つ
だから9だよ。

手立て2-②



位ごとに分けて、
かけられる数の
九九で計算すれば
答えが出ます。



3桁×1桁も、前に習っ
た2桁のやり方と同じよ
うにやればできます。

そうだね。



【成果】

- 『おたすけツール』を使うことで、普段なかなか方法が思いつかない児童も、自分の考えを持ち表現できた。
- 同じ考えの児童同士で交流を行うことで、確認、補充ができ考えが深まった。
- ペアでの振り返りのときに、学んだことを自分の言葉で言える児童が増えた。

【課題】

- 系統的な指導に役立てるために、各学年の教科書に掲載されている図・表を基にしながら、『おたすけツール』を作成していく必要がある。
- 小集団での交流で、さらに考えを深めるために、理由を付けて説明したり、より多くの児童と交流を持てたりするようにしていくと良い。